

東京都江戸東京博物館の 展示と教育普及の取り組み

江戸東京博物館 事業企画課
展示事業係 新田太郎

1

1 江戸東京博物館の概要

- 開館年月日 1993年(平成5年)3月28日
- 設置者 東京都
(東京都江戸東京博物館条例)
- 運営主体 公益財団法人東京都歴史文化
財団グループ
- 所在地 東京都墨田区横網1-4-1

2

2 常設展示の特徴

- 江戸東京という都市の歴史の博物館
 - 学際的な研究成果にもとづく博物館
 - 大型模型の活用
- 歴史時代の社会の仕組みや生活、文化が
体感できる博物館
 - 大型模型・体験型模型

3

2-1展示空間の特徴

- 高層階ワンフロア8,934㎡の大空間
- 江戸と東京のゾーン構成
- 歴史空間を追体験できる実大模型
- 体験型模型と体験コーナー
- 催事スペースの配置
- ミュージアムショップの展開

4

展示構成(江戸ゾーン)

- ◎ 都市の原型
 - 江戸城と町割
- ◎ 江戸のくらし
 - 武士の暮らし／町の暮らし／出版と情報／江戸の商業／江戸と結ぶ村と島
- ◎ 江戸の文化
 - 江戸の四季と盛り場／文化都市江戸／江戸の美／芝居と遊里

5

展示構成(東京ゾーン)

- ◎ 首都東京の誕生
 - 文明開化東京／開化の背景／産業革命と東京
- ◎ 近代都市生活
 - 市民文化と娯楽／関東大震災／モダン東京
- ◎ 戦争と復興
 - 空襲と都民／よみがえる東京

6

2-2 運営の特徴

- 月2回の展示替え
- 可変的な解説システム
- 教育プログラムの実践(後述)
- バリアフリー対応
- メンテナンス、清掃の実施

7

3 常設展示室内における 教育普及活動

- 人による展示内容の解説
 - －展示ガイドボランティア
 - －ミュージアムトーク
- 展示空間を活用した歴史体験
 - －えどはく寄席
 - －ふれあい体験教室
 - －企画展関連ワークショップ

8

3-1 博物館ボランティア

- 登録人数(平成24年3月31日現在) 合計 261名
 展示ガイドボランティア 205名
 ふれあいスタッフ 56名(上記の兼任35名)
- 活動日時
 火曜日～日曜日(開館日) 10時～16時
 (毎日15人程度のグループで活動)
- 活動内容
 日本人及び外国人来館者に対する案内
 「ふれあい体験教室」(ワークショップ)の運営
- 対応件数(平成23年5月～24年3月)
 外国語による案内件数 3,026件
 日本語による案内件数 5,770件

9

3-2 ミュージアムトーク

- 学芸員による展示解説。常設展示各コーナーにおける展示内容を詳しく紹介。
- 実施日:毎週金曜の16時～16時30分
- 回数:計51回(平成23年度)
- 参加者数:1,580人(同上)

10

3-3 えどはく寄席

常設展示室内中村座実大模型前で、落語、漫才、紙切り、かつぼれ、太神楽、邦楽などを実演

観覧者数:57,658人(平成23年度)

11

3-4 ふれあい体験教室 (ボランティアによるワークショップ)

- ワークショップボランティア(ふれあいスタッフ)が企画・運営する、伝統的な文化や芸能の体験型事業や、高齢者や子供を対象とした参加型事業。
- ふれあい体験教室実施数 52件
- ふれあい体験教室参加者数 2,200人

12

3-5 企画展関連ワークショップ

- 常設展示室内にて時限実施する企画展の内容をより深く理解してもらう
 - 企画展の広報
- 個人、小グループ、ファミリー層向け

13

4 近年における教育普及の取り組み

- 常設展入館者は学校団体が中心
 - 小学校は都内・近県の社会科見学が中心
 - 中学・高等学校は他地域の修学旅行が中心
- 異なる来館目的に対応する必要

14

ワークシートの作成

展示の見どころを簡潔にまとめたワークシートを作成し、学校教育との連携を図る(23年度は小学校6年と高校生版作成)。

15